



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

2020～2021 年度

会報

上げよう奉仕の輪



2020. 12. 02 第1371 回例会 No. 31-08 2020. 12. 9 発行

◎司会 SAA・親睦委員 入沢 修自

【 委員会報告 】

◎開会点鐘 会長 峯岸 忠

◎出席報告 出席奨励委員会

会員総数 29名
出席義務免除者 8名

◎国歌「君が代」演奏

ロータリーソング「我等の生業」演奏

出席者数	出席義務者	14名
	出席免除者	2名
計		16名

◎「四つのテスト」唱和

SAA・親睦委員 入沢 修自

出席率 16/29 = 64.00%

◎お客様紹介 会長 峯岸 忠
岡山西南ロータリークラブ 椎原 裕二 様

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員 米津 正五

峯岸 忠 急に寒くなりました。
お身体ご自愛下さいね。
守田 亨 寒いですがコロナにかからないよう気を付け
ましょう
椎原様ようこそお越しくださいました
萩生田政由 皆様お元気ですか！
伊澤ケイ子 今日寒いですね。コロナ・インフルエン
ザ気をつけましょう。
大槻 一夫 寒くなってまいりました。
体調に気をつけて下さい。
菊池 敏 久しぶりの例会、忘れそうです。
入沢 修自 みえないものと戦った一年だったそう
です。12月ですね。
堤 香苗 出張がとんで今日は参加できます～
関岡 俊二 いよいよ一年の終りの月です。
さらにコロナに気をつけましょう。
杉山 真一 椎原さんようこそ
鈴木 俊之 いよいよ寒くなって参りました。
皆さま体調管理は万全に！！
初野 有人 シイハラ様ようこそいらっしゃいました
米津 正五 寒くなって参りました。コロナ・
インフルエンザに注意して参りましょう。

◎会務報告 会長 峯岸 忠

①今後の夜例会について
コロナ禍による感染防止対策として当面の間、夜例会を
昼例会に変更することで決定。

②クリスマス例会について
12月16日水曜日に予定されておりますクリスマス例会
は、コロナ禍による感染防止対策の一環として、当日は
通常の昼例会として開催いたします。

③大松会員退会届の件
11月30日付で、大松会員から退会届が提出されました。
12月までの会費の納入もされておりますので、我々も現
在慰留中でございます。皆様もご協力のほど、よろしく
お願いいたします。

◎幹事報告 幹事 守田 亨

★配布物
ロータリーの友 12月号

★回覧物
ガバナ一月信 12月号

※他クラブ例会変更：事務局までお問合せ下さい。

本日の合計¥22,000 (累計¥262,500)



例会場 京王プラザホテル多摩 例会日 水曜日 12:30～ 月最終例会 18:30～
事務局 〒206-0033 多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042-372-6463 FAX 042-372-6491 Eメール tamagrc@tamagrc.join-us.jp

会長 入沢 修自 幹事 田崎 博実 会報・記録委員長 守田 亨
副委員長 大松誠二 委員 関岡俊二 森本由美 林田敏雅 伊綾綾乃
菊池 敏 福岡 均 HP: <http://www.tamagrc.join-us.jp/>

[田村会員による、多摩市におけるコロナの状況・ご経験の報告]

-ワクチンについて-

イギリス、アメリカは年内から接種がはじまる。日本は政府の方針により、年明け3ヶ月から4ヶ月で、希望する国民に無料で、1人2回接種される予定であります。多摩市におきましても、医師会に新型コロナウイルスワクチン接種の協力要請があり、現在話し合いがはじまったところでもあります。

多摩市はまだ正式には公表しておりませんが、来年1月末から2月くらいから、市内に3か所くらい接種会場を設けて、そこに接種を希望する方に来ていただいて、接種を開始する計画をしているようであります。

市民にはクーポン券のようなワクチンの接種券を配布し、接種を受けられる形になるようです。

しかしながらこれは大変な仕事で、多摩市民148,000人いて、半分も受けないかもしれないが、何万人という方を3ヶ月くらいで接種させるので、通常勤務している医師、看護師にとっては非常に困難なことである。

コロナワクチンは未知のものであるため、巷で副作用があるなどという噂が流れてしまうと、接種をやめてしまうなど、心配な部分があります。

ワクチンの場合には通常、抗体がつく作用基準であるが、コロナワクチンの場合、ちがう作用基準であるため、本当に効くのかどうか、それが安全に接種できるのか、未知数なところがあるのが心配な部分であります。

それでも政府がなぜ躍起になっているかということ、まずは国民のくらしと命を守るためであることはまちがいないが、オリンピック開催までに予防接種を済ませてもらいたいという意図もあるような気がしています。

私たち医師にとりましては、非常にたいへんな仕事であります。

-新型コロナウイルスはどんな病気なのか-

色々な報道がされていて、共通の認識もあるかと思いますが、やはり65歳以上の高齢者がこわいです。

65歳を超えてしまいますと、やはり死亡率が増えてしまっております。感染方法についてですが、3密をさけましょうというものは、大分守られておりますが、東京都の感染の在り方を調べた方によりますと、一番確率が高く、感染がおきる場所は、やはり夜の街、学生寮など、感染に無頓着な方が大勢集まり、大声でしゃべったり、歌を歌ったりすることで、高い確率で集団感染、クラスターがおこりやすくなっている。

そして、それを皆が家庭に持ち帰り、家庭内感染がおこる。

どういう状況の人が感染させるかということですが、発症2日前から人に感染させる力を持っているので、感染媒体になるような行動はやはり避けるべきであろうという見解を持っています。

感染一波の時より、第二波、第三波の方が、死亡数が減っている。特に東京が減っている。それは一波で感染者、重症者を経験した東京の医師が、医療の対策方法が上手くなっていることは事実である。

しかしながら、現在重症者がかなり増えている。

コロナを収容する病院の整備はかなりされてきているが、その結果として他の病気を診る余裕がなくなっている。

例えば、コロナ患者を受け入れる病院であれば、その病棟フロア全体をコロナ患者用として感染ゾーンとしてしまうため、他のベッドを減らさざるを得ない状況である。でするので、心筋梗塞、脳卒中の治療など緊急を要する治療のキャパが減ってしまう。

今までは心筋梗塞など急性期をおこしたとしても、速く病院に連れていけば助かる期待はあったのですが、これからコロナの治療があふれてきますと、治療できませんというところが増えてきて、市内の病院に運ぶことがず、救急車ではるか遠くの病院に運び込まれて、時間がかかり、助かる命も助からない状況になってしまうと心配しています。

-最後に-

私としては、重症者を治療するのは病院の役目であり、熱がある人でコロナを見つけ出し、コロナである方は病院におくり、そうでない人は通常の治療をするという、トリアージをするのは、市内の医療機関、医師会の使命であるので、ちゃんとやっていきたいと考えています。お正月は病院も休みになり、体制が手薄になりますのでとても心配しています。

しかし、当田村クリニックにおいては、年末は12月30日、年始は1月2日も外来を開けますし、発熱外来におきましては、患者数の増加も見込まれるため、私含めて複数の医師が完全装備をして診療にあたる準備ができています。



◎閉会点鐘

会長 峯岸 忠



(今週の担当 大槻 一夫 )